

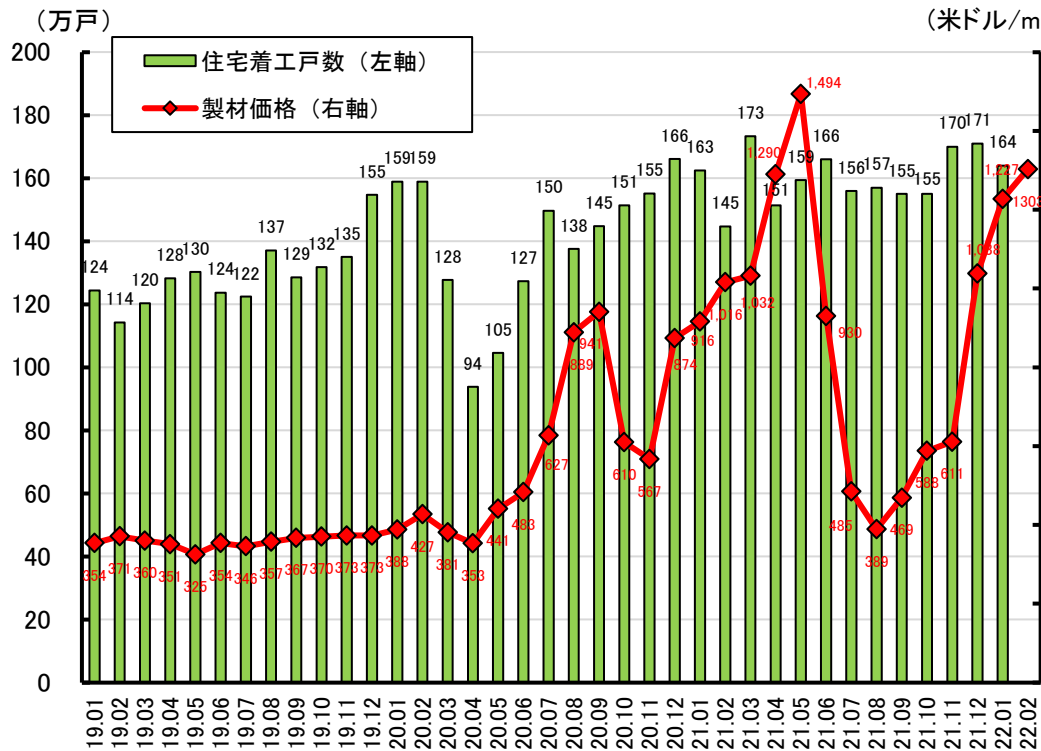
# 木材輸入の状況について

(2022年1月実績)

令和4年3月  
林野庁 木材貿易対策室

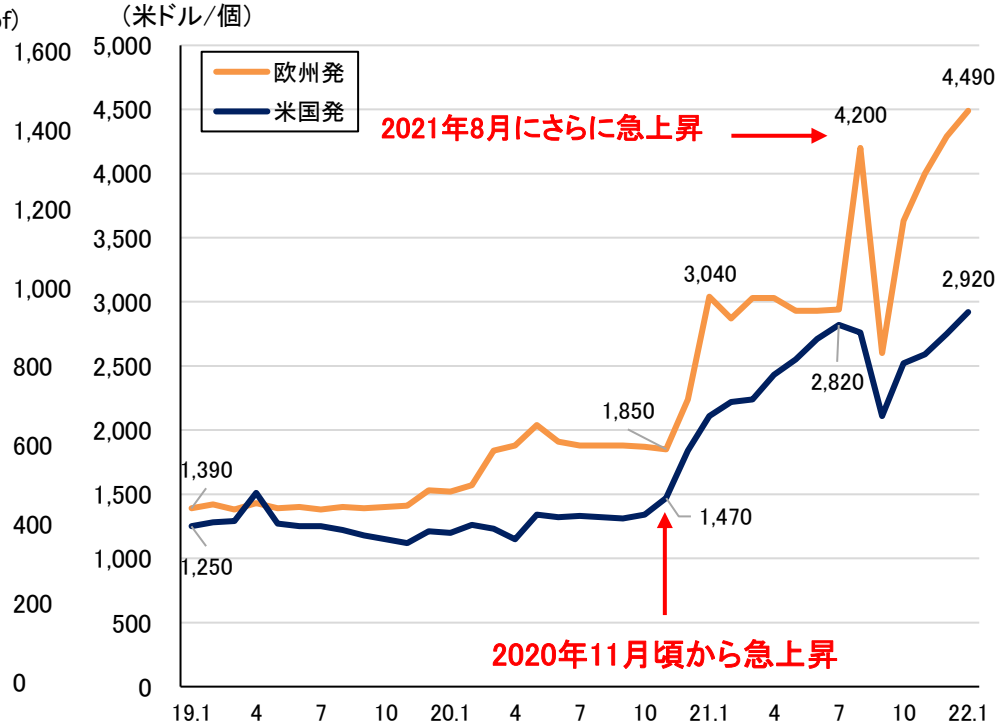
# 1. 米国における木材価格の高騰

- 米国の住宅着工戸数(戸建て計)は、コロナ禍による在宅需要の増加と住宅ローンの低金利により、2020年5月から急増。2021年3月に173万戸(年率換算)を記録。2022年1月は、前月比▲4%減の164万戸。
- 北米の木材価格も、昨年夏から急激に上昇。一時下落したものの、年末から再び上昇して、2021年5月には1,494ドル/mbfを記録。以後、急落したが、同年9月以降、再上昇し、2022年2月には1,303ドル/mbf(前月比+6%増)まで急上昇。
- 2021年秋以降、中国から北米へのコンテナの急増による他国でのコンテナ不足と、コロナ禍による中国での港湾作業員不足が深刻化。
- 世界的なコンテナ不足により、海上輸送運賃が急激に上昇。日本向けコンテナ運賃は、2021年9月に一時大きく下落したものの、同年10月以降は欧州発、米国発ともに再度上昇傾向。



資料: (住宅着工戸数)米国商務省「住宅着工統計」(季節調整済み、年率換算、戸建て計)  
(製材価格)Random Lengths「Framing Lumber Composite Price」(月末価格)

米国における住宅着工戸数と製材価格の推移



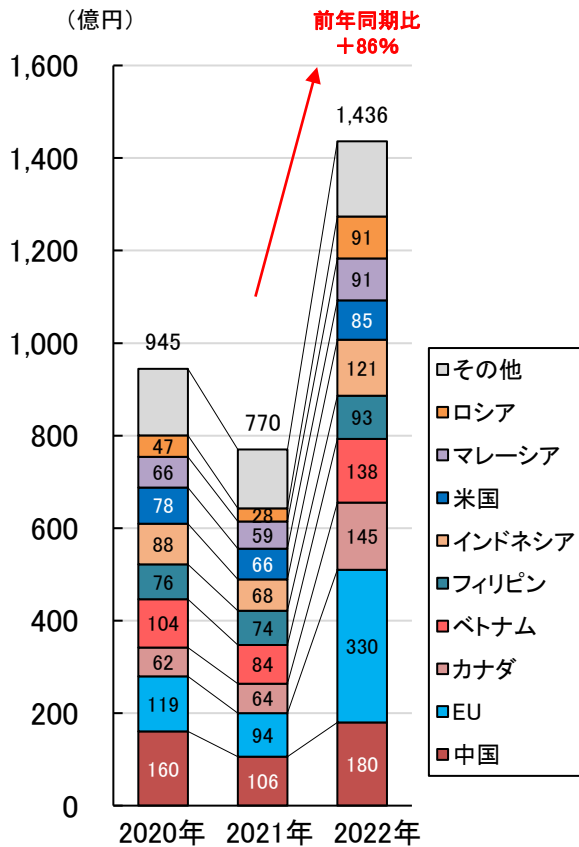
(注) 40ftコンテナ。「米国発」はLos Angeles発横浜着、「欧州発」はRotterdam発横浜着。  
(出典) Drewry「Container Freight Rate Insight」

資料: 日本海事センター「主要航路コンテナ運賃動向」

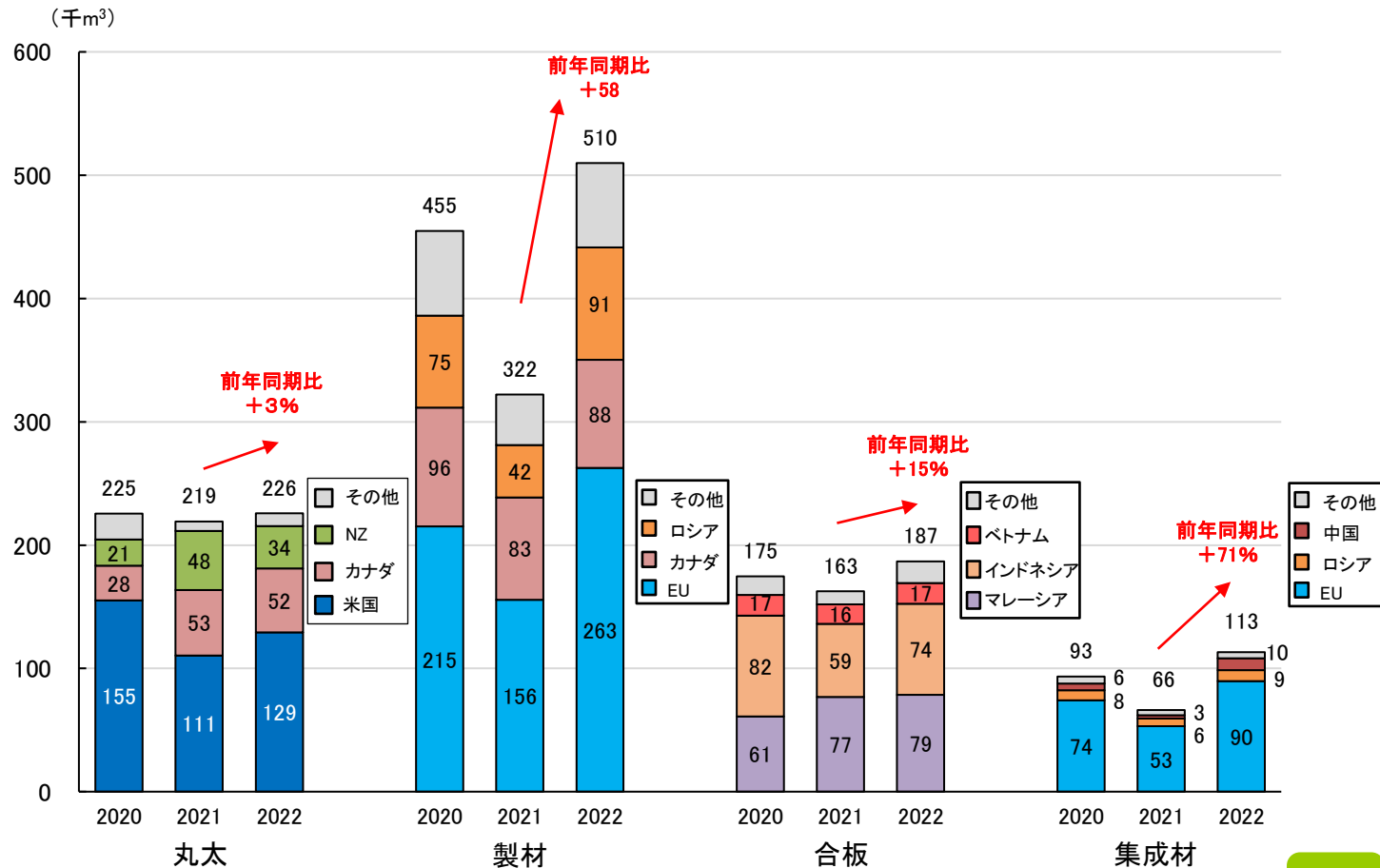
日本向けコンテナ運賃の推移

## 2. 2022年1月の木材輸入実績

- 2022年1月の木材輸入額は、前年同月比+86%増の1,436億円。
- 品目別の輸入量を見ると、丸太が同+3%、製材が+58%、合板が同+15%、集成材が同+71%と、軒並み増加。米国の丸太、EUの製材・集成材、インドネシアの合板が増加。
- なお、2020年同期と比較すると、2022年1月の木材輸入額は同+52%増加。品目別では、丸太が同+0%、製材が+12%、合板が同+7%、集成材が同+21%増加。



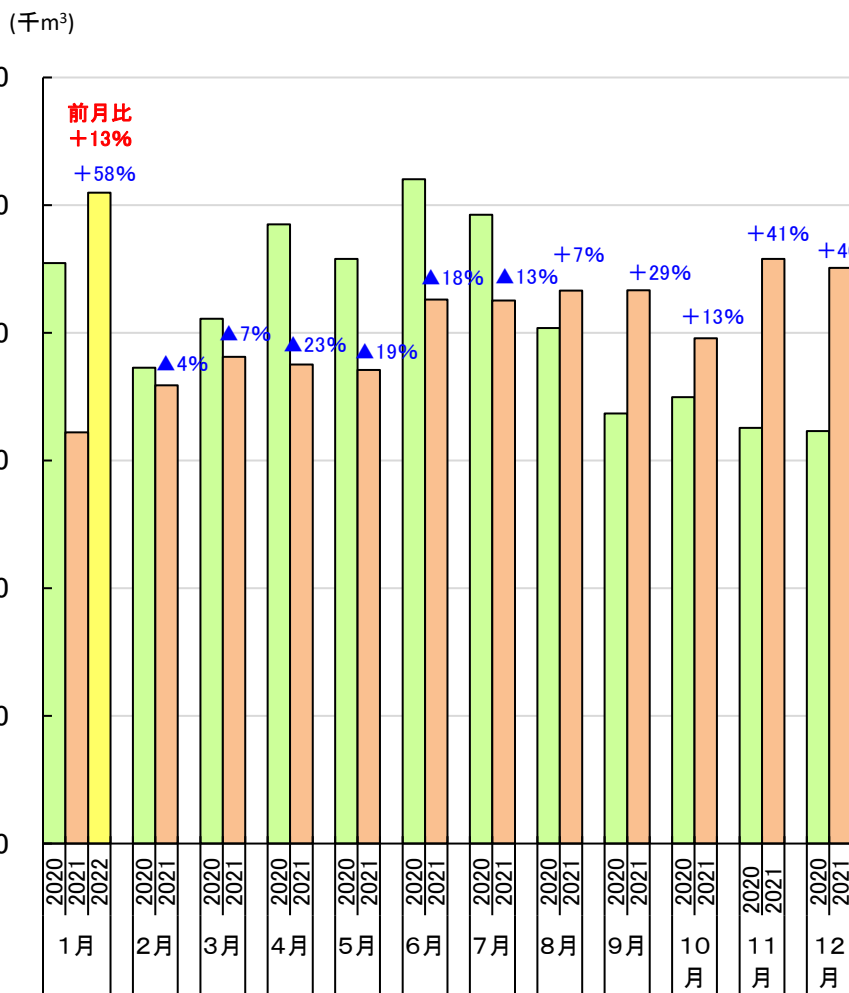
木材輸入額の推移  
(2020～2022年における1月計)



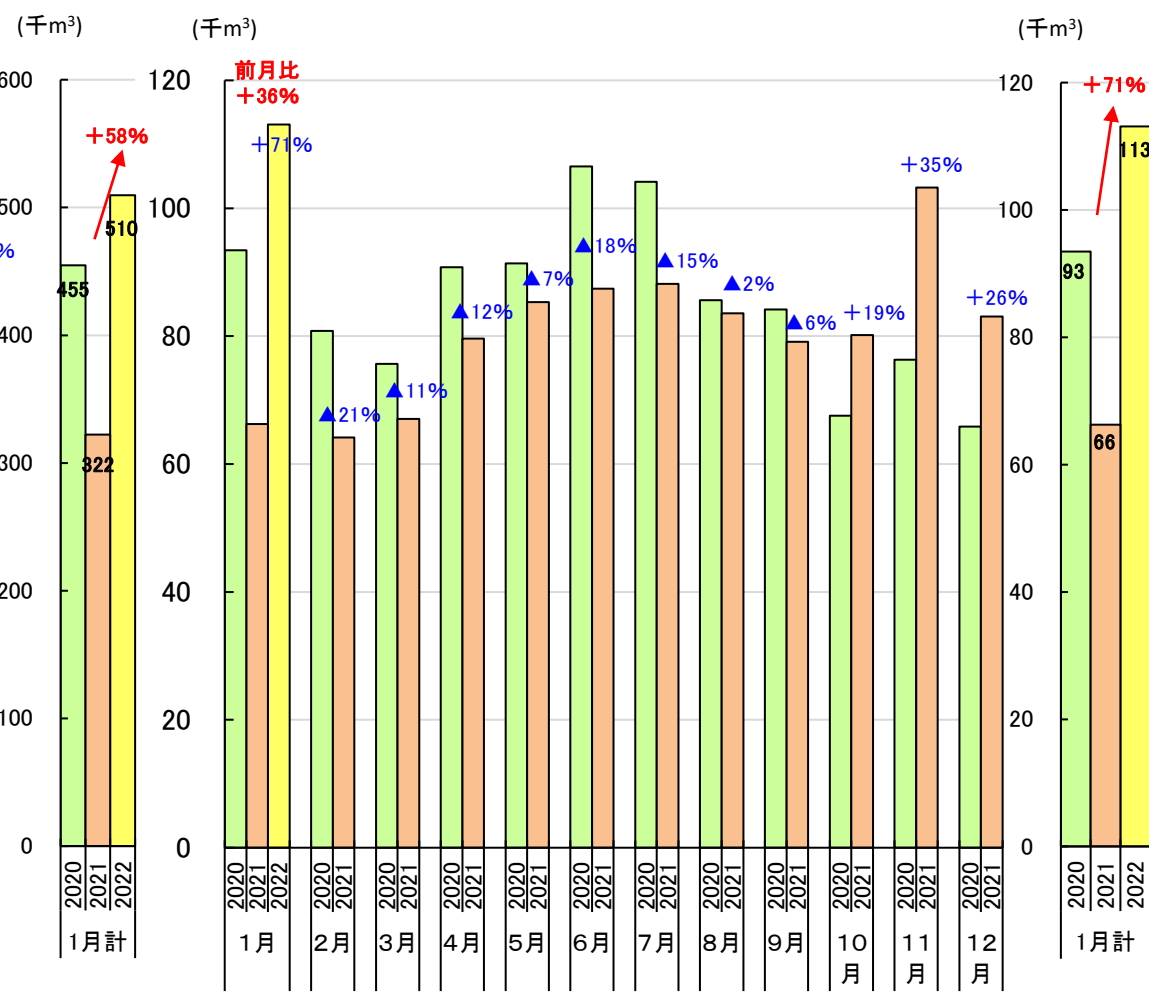
品目別木材輸入量の推移  
(2020～2022年における1月計)

### 3. 製材・集成材の月別輸入量

- 2022年1月の製材輸入量は、前月比+13%増の51.0万m<sup>3</sup>。前年同月比では、+58%増。
- 同月の集成材輸入量は、前月比+36%増の11.3万m<sup>3</sup>。前年同月比では、+71%増。



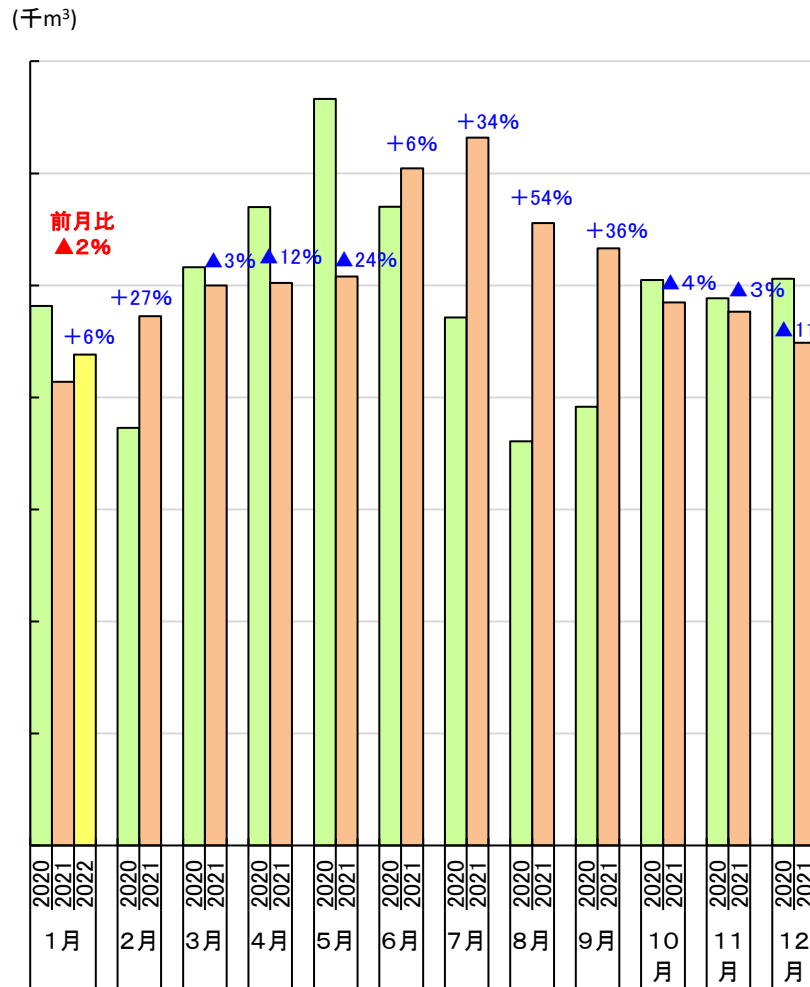
製材の輸入量



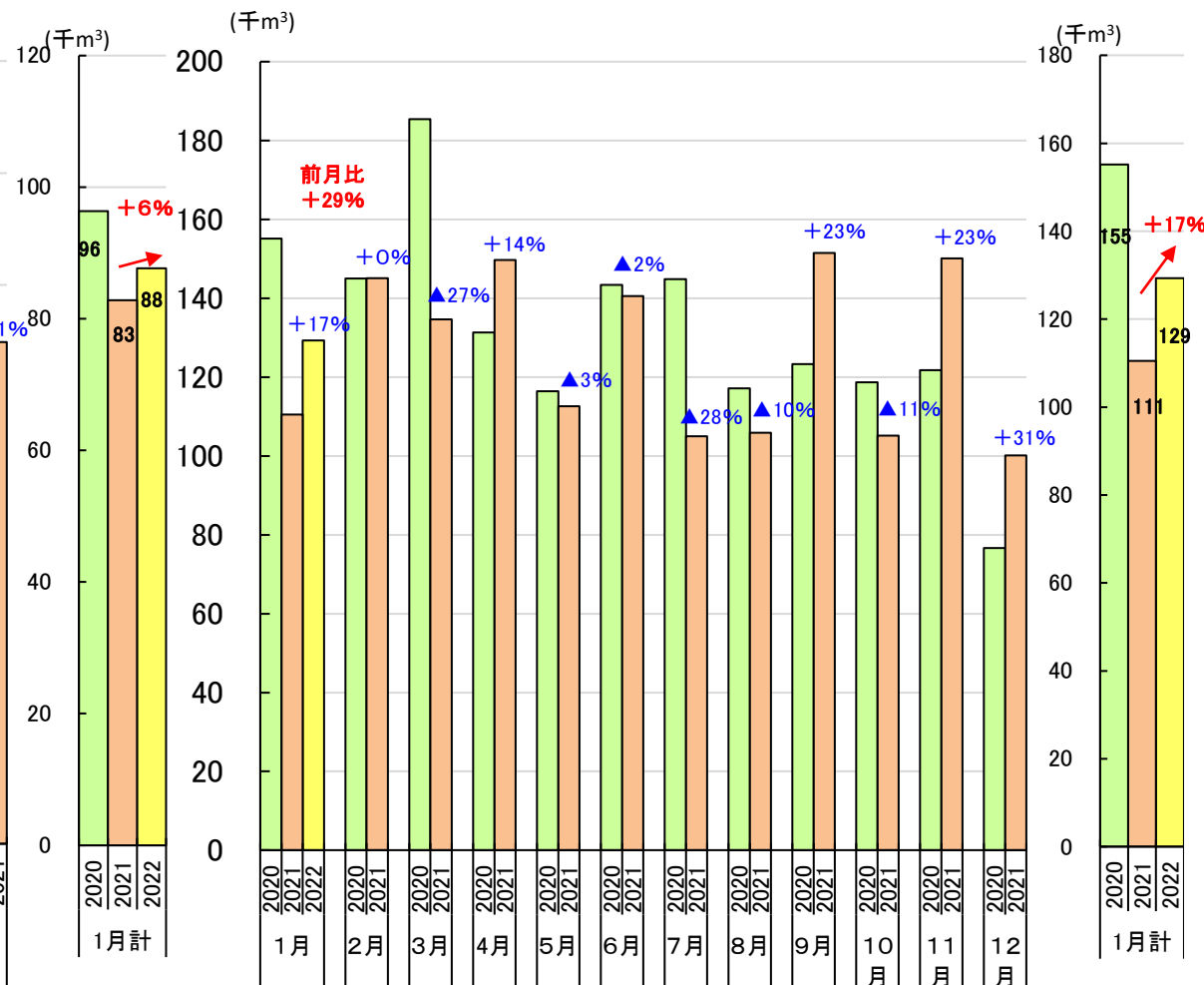
集成材の輸入量

# 4. 北米からの月別輸入量

- 2022年1月のカナダからの製材輸入量は、前月比▲2%減の8.8万m<sup>3</sup>。前年同月比では、+6%増。
- 同月の米国からの丸太輸入量は、前月比+29%増の12.9万m<sup>3</sup>。前年同月比+17%増。



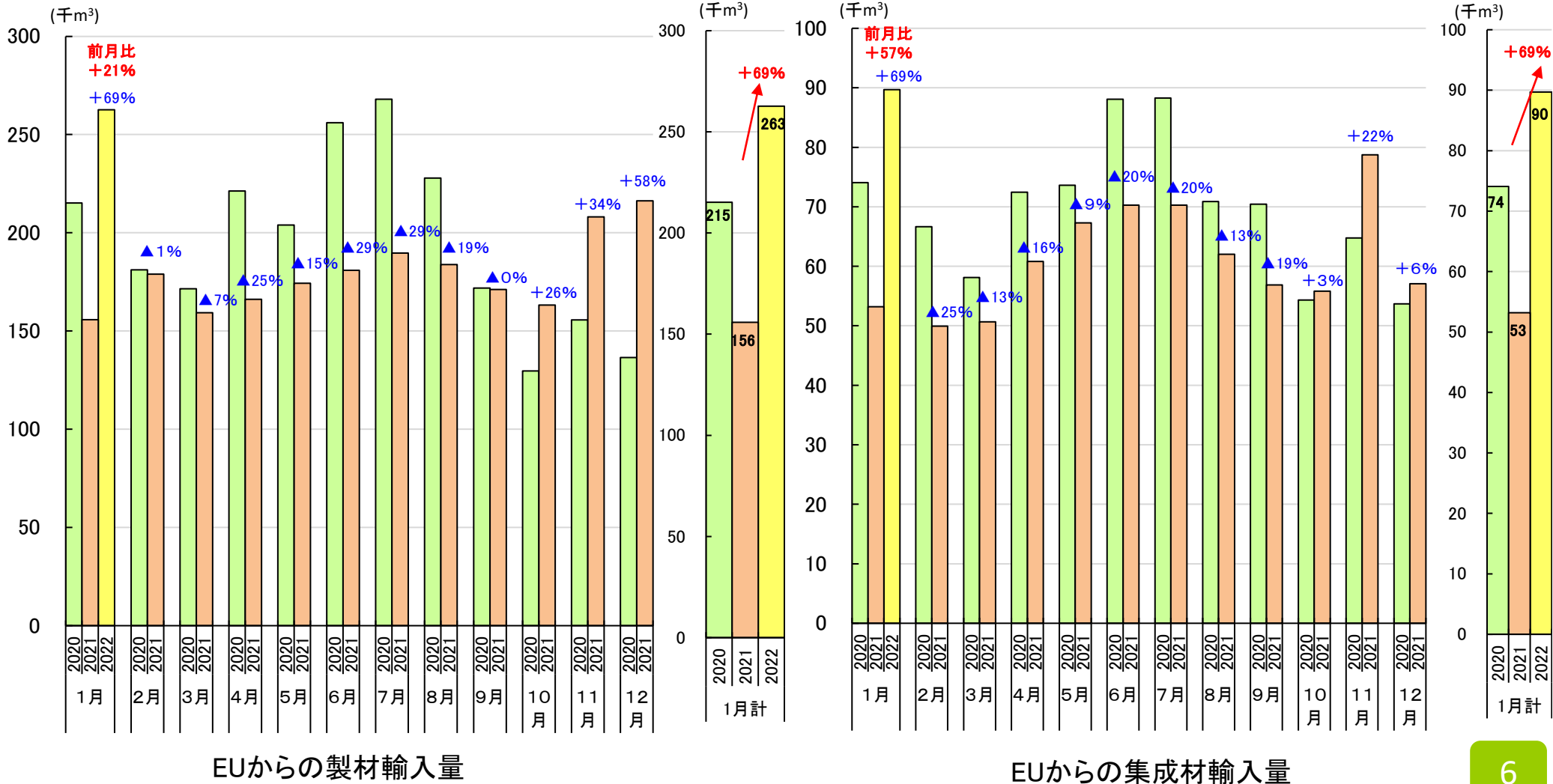
カナダからの製材輸入量



米国からの丸太輸入量

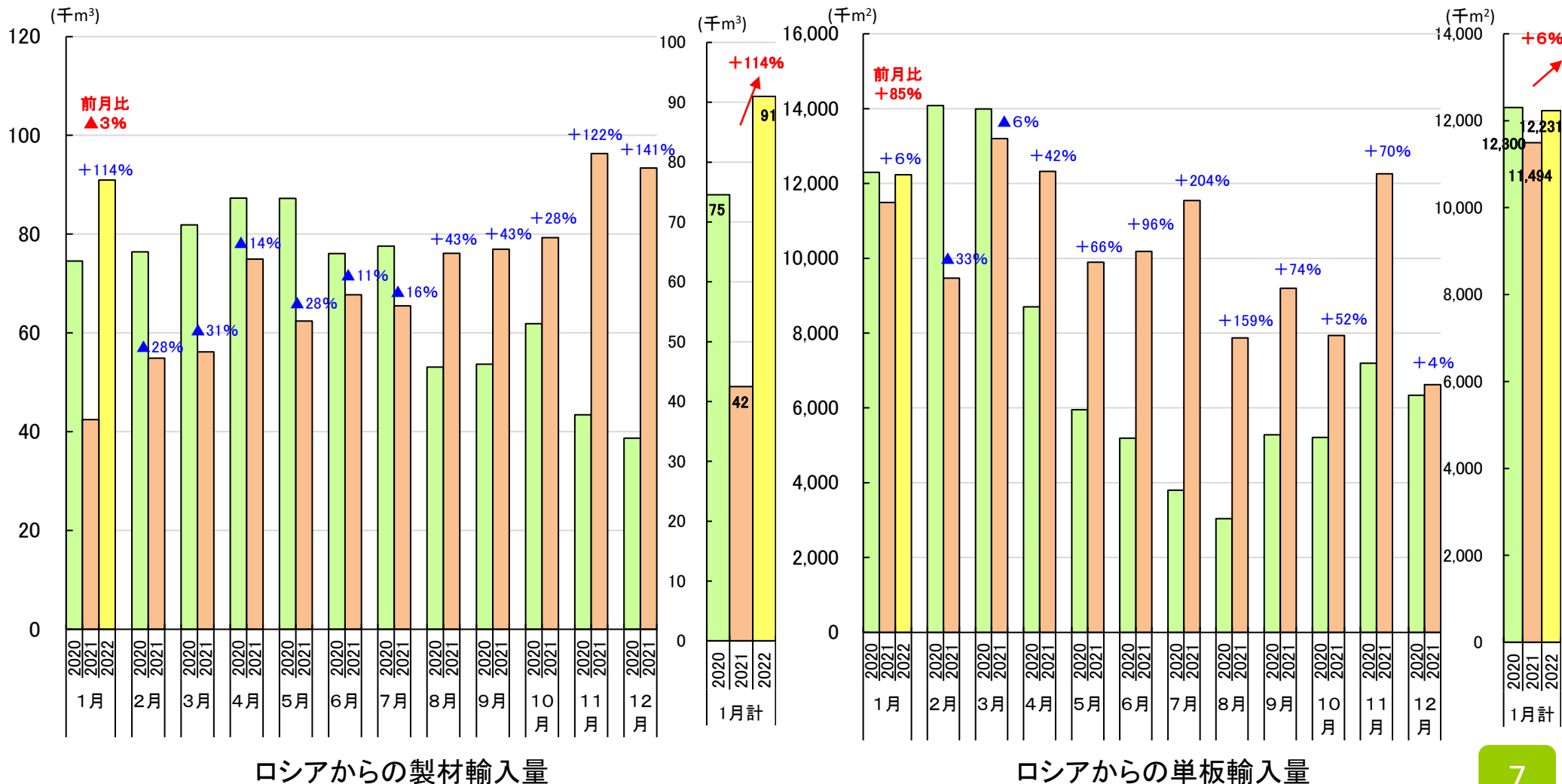
# 5. 欧州からの月別輸入量

- 2022年1月のEUからの製材輸入量は、前月比+21%増の26.3万m<sup>3</sup>。前年同月比では、+69%増。
- 同月のEUからの集成材輸入量は、前月比+57%増の9.0万m<sup>3</sup>。前年同月比では、+69%増。



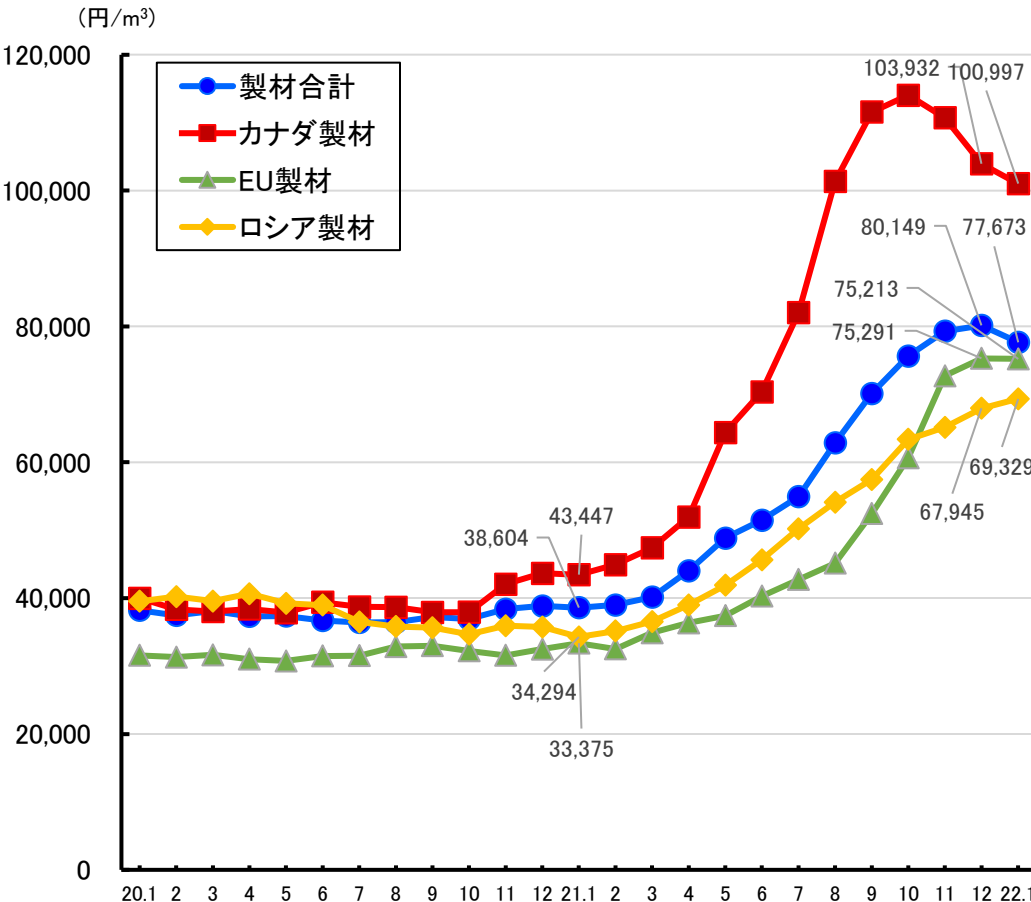
## 6. ロシアからの月別輸入量

- 2022年1月のロシアからの製材輸入量は、前月比▲3%減の9.1万m<sup>3</sup>。前年同月比では、+114%増。
- 同月のロシアからの単板輸入量は、前月比+85%増の1,223万m<sup>2</sup>。前年同月比では、+6%増。



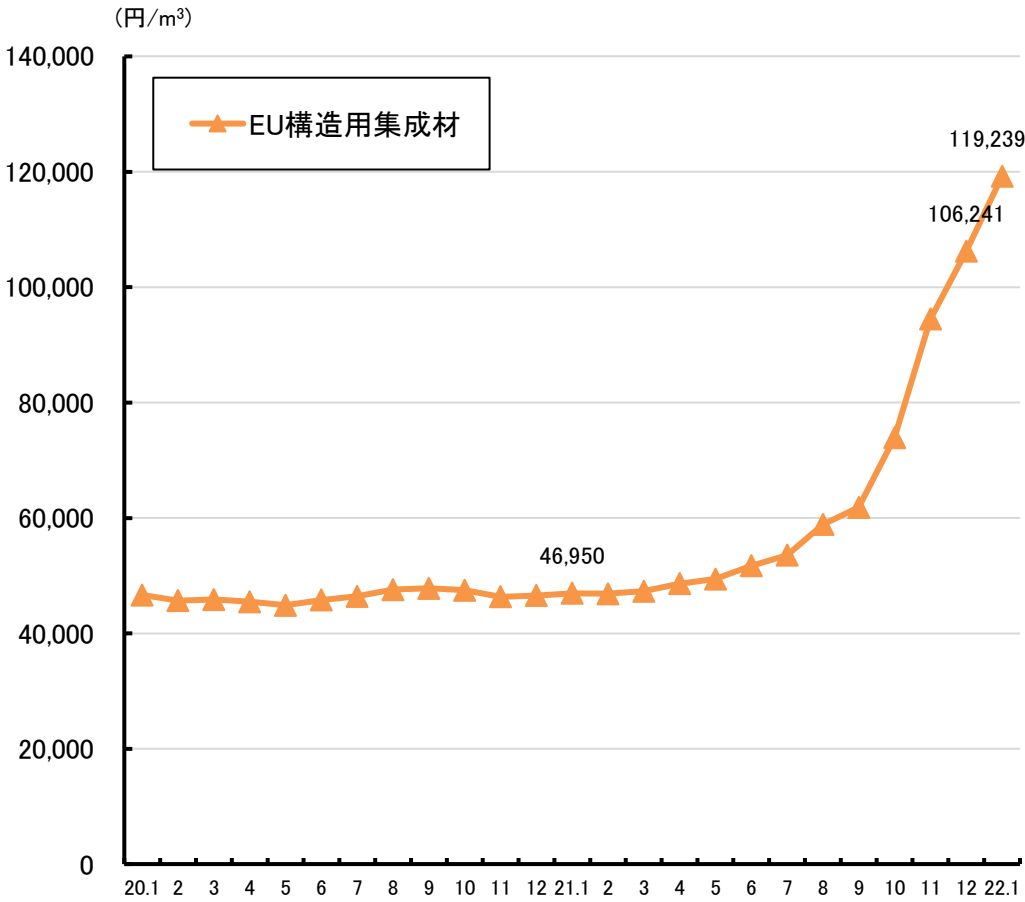
# 7. 製材・構造用集成材の輸入平均単価

- 2022年1月の製材輸入平均単価（総輸入額／総輸入量）は、前月比▲3%減の77,673円/m<sup>3</sup>（前年同月比101%増）。うち、カナダの製材は、前月比▲3%減の100,997円/m<sup>3</sup>（前年同月比+132%増）、EUの製材は、前月比▲0%減の75,213円/m<sup>3</sup>（前年同月比+125%増）、ロシアの製材は、前月比+2%増の69,329円/m<sup>3</sup>（前年同月比+102%増）。
- 同月のEUからの構造用集成材輸入平均単価は、前月比+12%増の119,239円/m<sup>3</sup>（前年同月比+154%増）。



注：輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

製材の輸入平均単価



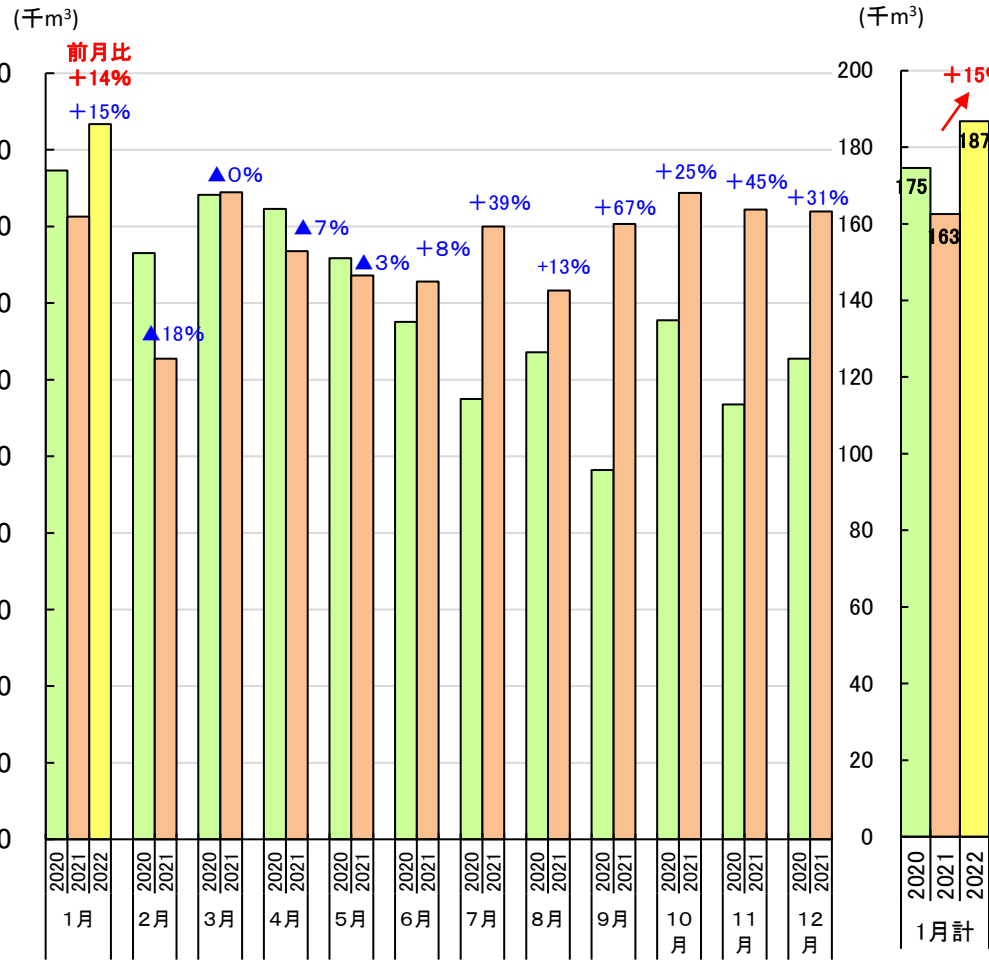
注：輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

構造用集成材の輸入平均単価

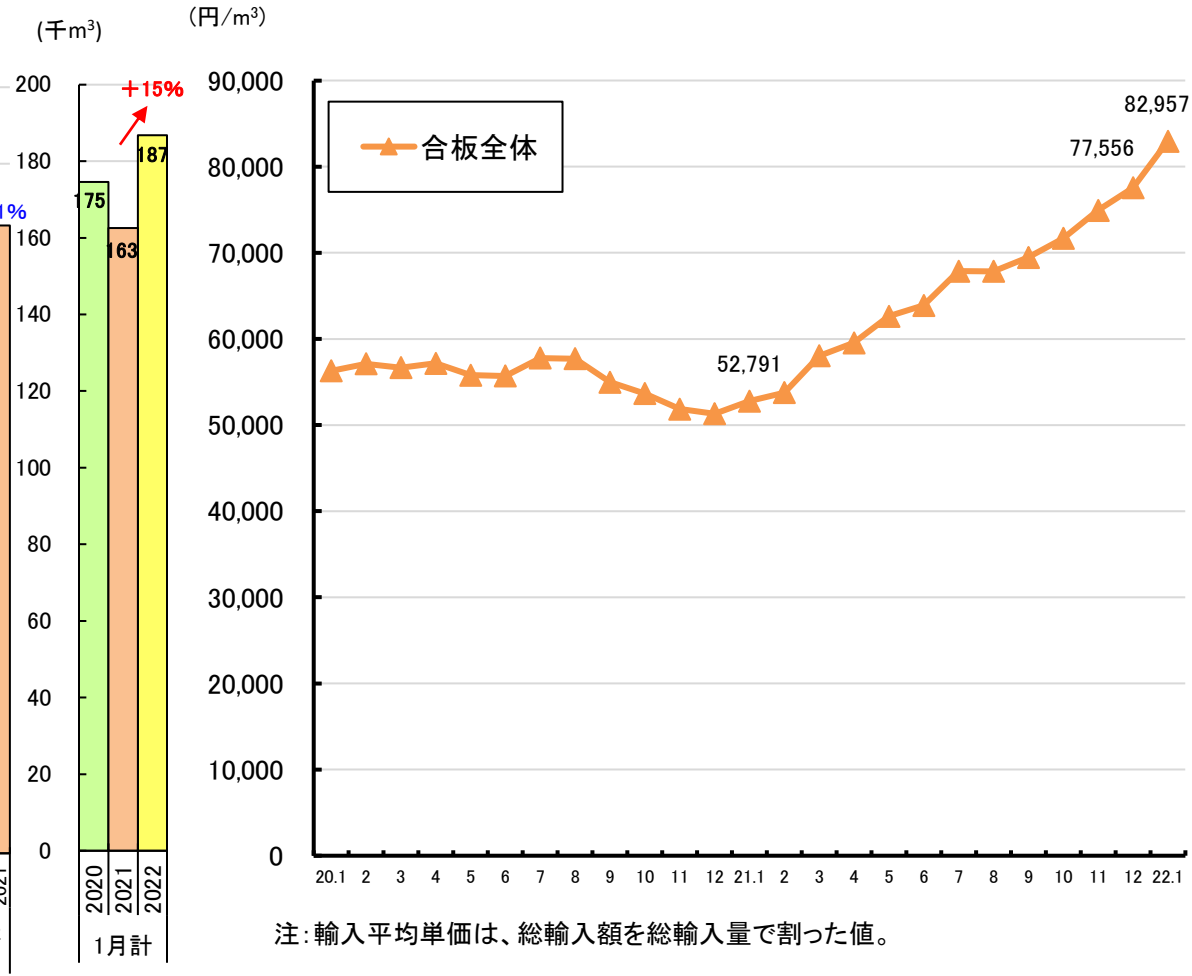


# 8. 合板の月別輸入量と価格

- 2022年1月の合板輸入量は、前月比+14%増の18.7万m<sup>3</sup>。前年同月比では、+15%増。
- 同月の合板輸入平均単価は、前月比+7%増の82,957円/m<sup>3</sup>。前年同月比では、+57%増。



合板の輸入量

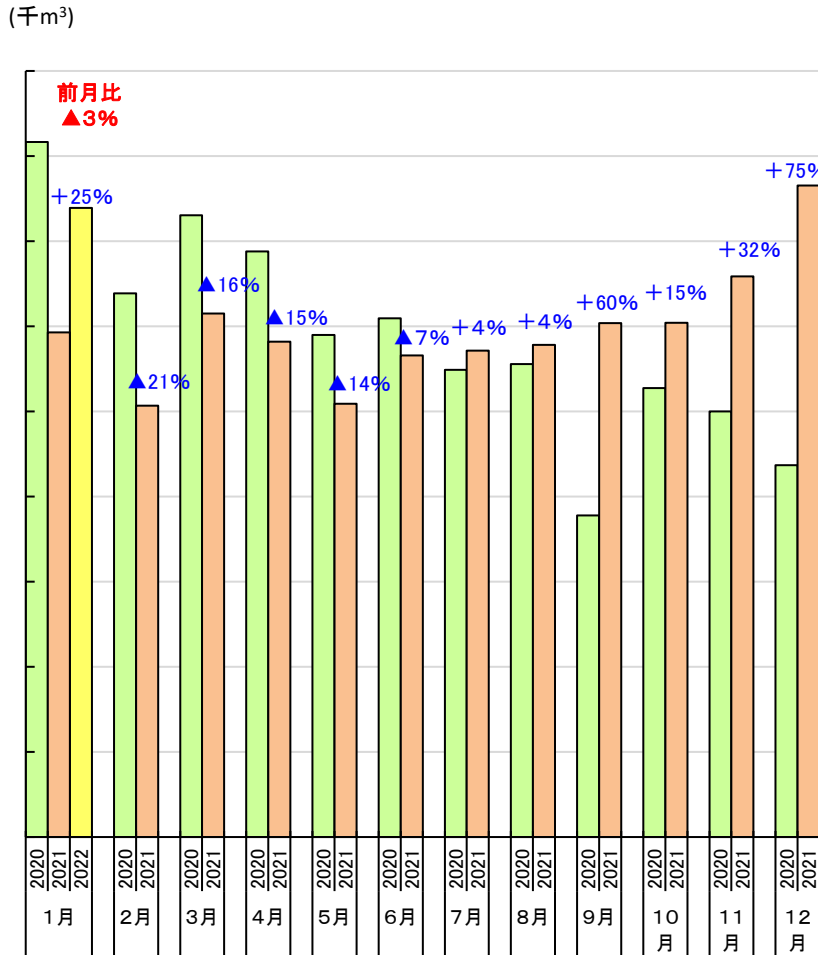


注: 輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

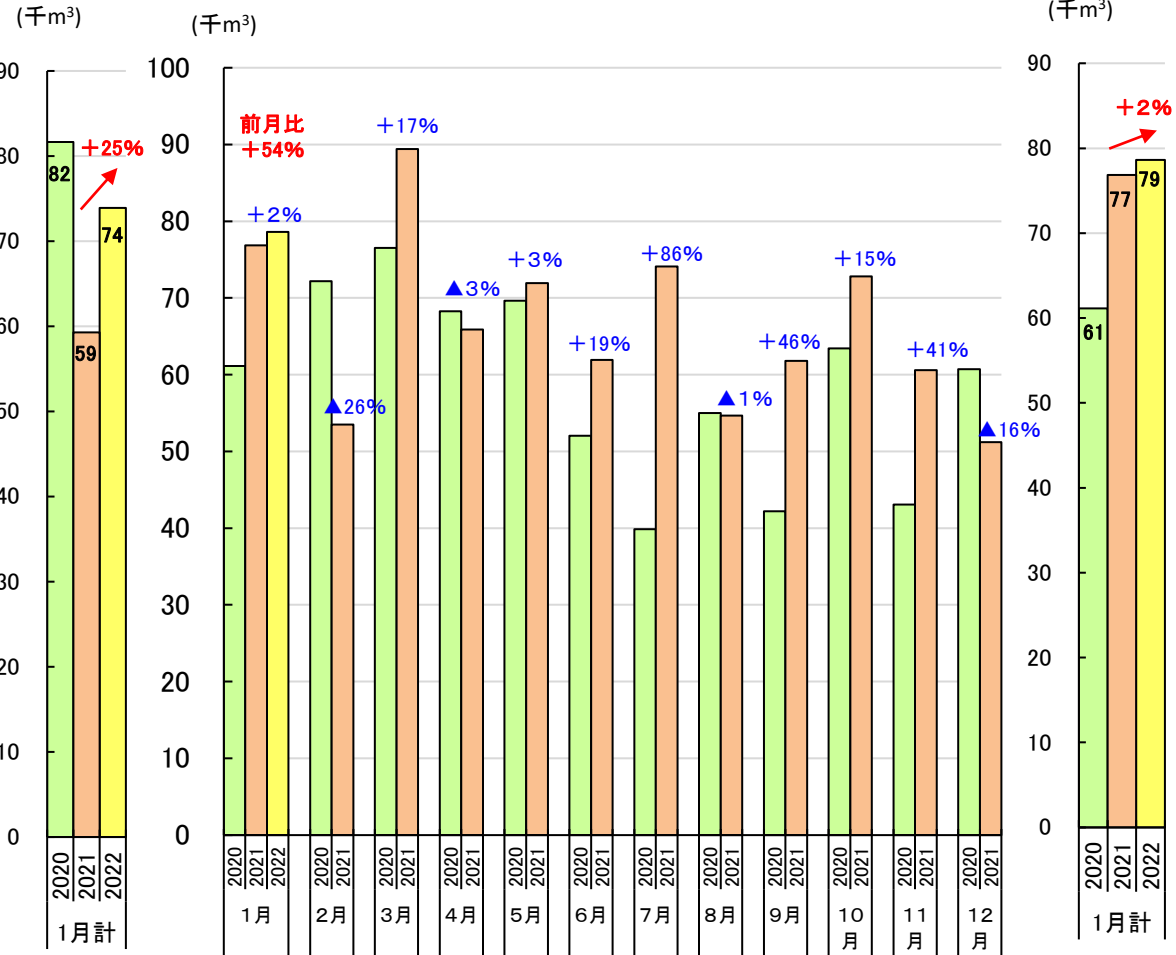
合板の輸入平均単価

# 9. 東南アジアからの合板の月別輸入量

- 2022年1月のインドネシアからの合板輸入量は、前月比▲3%減の7.4万m<sup>3</sup>。前年同月比では、+25%増。
- 同月のマレーシアからの合板輸入量は、前月比+54%増の7.9万m<sup>3</sup>。前年同月比では、+2%増。



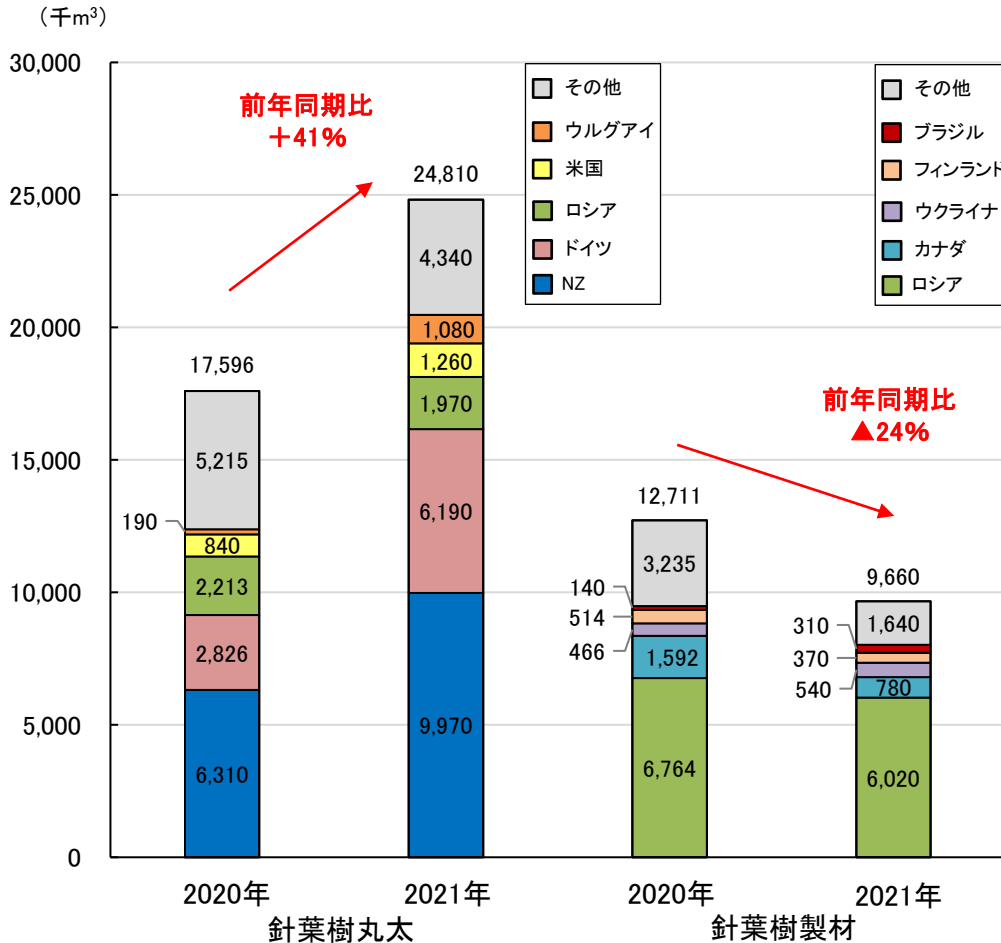
インドネシアからの合板の輸入量



マレーシアからの合板の輸入量

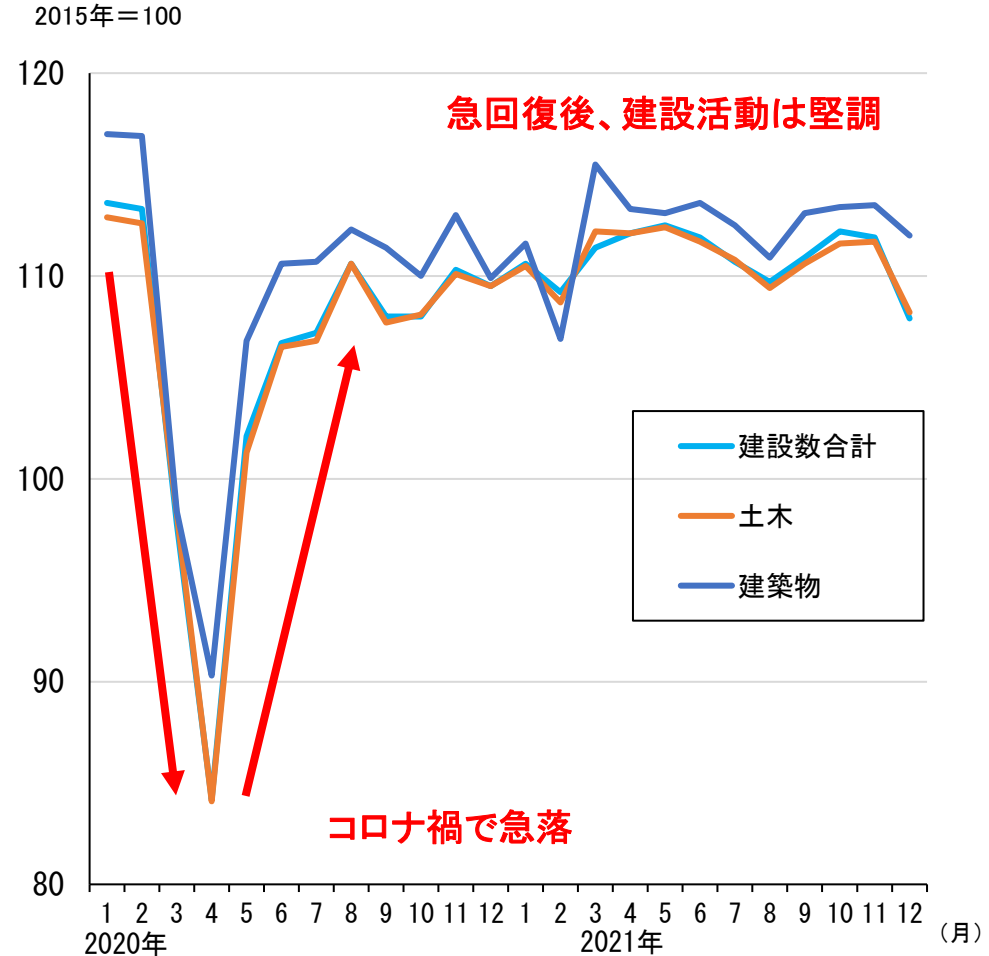
# (参考) 欧州・中国における木材需要の動向

- 中国では、木材需要の増加が継続。2021年上半期(1~6月)の針葉樹丸太輸入量は、前年同期比+41%増の2,481万m<sup>3</sup>。一方、針葉樹製材輸入量は、前年同期比▲24%減の966万m<sup>3</sup>。木材輸入の形態が製材から丸太へシフト。
- EUでは、コロナ禍により、昨年春に建設活動が急落したが、同年夏以降は回復して、以後、堅調に推移。



資料:ITTO (Tropical Timber Market Report, Vol.25 (15) (16))

中国の木材輸入量  
(2020年及び2021年の各上半期(1~6月))



資料: Eurostat (Production in construction - monthly data)

EUにおける建設活動水準(2015年比)